

屋久島生態系モニタリング

屋久島西部地域における天然林の更新動態調査 (平成 21 年度)

Ⅱ ヤクシカの摂食嗜好性

調査結果からヤクシカの摂食嗜好性を分析し表に示す。この表は1㎡当たりの本数を用い、(摂食が確認された本数)/(全体の本数)×100%で表した。全プロットの出現本数を参考までに表中に示した。*ソヨゴ・アカガシ・シヤンボ・カクレミノは全体の出現本数が1本ずつであり、分析対象から外した。

ポチウジやヤマモモ、ウラジロガシは、前回(平成 19 年度)も嗜好性が高かった種であり、それらの多くは今回も頻繁な摂食を受けていた。また、今回の調査では出現しなかったが、プロット周辺には摂食により枯死したマテバシイの萌芽枝が数多く見られた。

一方、今回は嗜好性が低かったクロキやミズバイは、今回、中庸程度に摂食を受けるようになっていた。これは、元々嗜好性の高いウバメガシやマテバシイ、スダジイ等のブナ科植物の萌芽枝やポチウジ等の実生苗の多くが食べ尽くされたことにより、嗜好性の低い植物も食べ出したのではないかとと思われる。

なお、ヤクサネゴヨウの実生苗は、前回と同様に期間内における摂食は確認されなかった。このことより、苗高 2cm 前後の小さな当年生実生苗に対するヤクシカの摂食嗜好性は低いものと考えられる。しかし、ヤクサネゴヨウ採種林見本林では、樹高 0.5 ~ 1.5m の低木への摂食が多く確認されているので、成長するに従い摂食を受けやすくなるものと考えられる。

種名	摂食割合	嗜好性	全プロット の出現本数
マンリョウ	0%	低い	6
ホウロクイチゴ	0%		4
シキミ	0%		4
サザンカ	0%		2
センリョウ	3%		14
アリドオシ	4%		23
クロバイ	17%		52
ヤブツバキ	18%		14
アデク	28%		118
イヌガシ	29%		13
ミズバイ	33%	22	
クスノキ sp.	33%	3	
クロキ	35%	7	
サクラツツジ	43%	91	
タシタチバ	45%	123	
イヌノキ	46%	51	
ハリハリノキ	50%	2	
ヒサカキ	50%	38	
ウラジロガシ	54%	11	
ヤマモモ	75%	4	
ポチウジ	100%	5	



完成した作品を手に「はい、ポーズ！」

屋久島は今年、世界遺産登録 20 周年を迎える。屋久島森林生態系保全センターでは、次代を担う子どもたちをはじめ多くの方々に森林の中で自然と親しみ、遊び、学ぶ喜びを体験していただくことを目的に 8 月 24 日、屋久島森林管理署および屋久島レクリエーションの森林管理協議会との共

森林に学び 森林を楽しむ 「夏休み森林教室」に笑みの汗

屋久島は今年、世界遺産登録 20 周年を迎える。屋久島森林生態系保全センターでは、次代を担う子どもたちをはじめ多くの方々に森林の中で自然と親しみ、遊び、学ぶ喜びを体験していただくことを目的に 8 月 24 日、屋久島森林管理署および屋久島レクリエーションの森林管理協議会との共

同保全センターに集まった参加者ら一行はバスに乗りヤクスギランドに向かいました。車内では前田三文所長が植物の葉の付き方の特徴などについて説明。また、屋久島レクリエーションの森林保護管理協議会の日高美智男事務局長から同協議会の取り組みなどについて説明がありました。ヤクスギランドは標高 1000 ~ 1300 以上に広がる面



マムシグサに興味津々の参加者

屋久島の植物



イソフサギ (ヒコ科)

和歌山県・鹿児島県以南で海岸の岩場にカーペット状に生える多年草。多肉質の小さな葉は対生し、莖は四方へ分枝する。枝先に小さな淡紅色の花が数個集まって付く。花期 7 ~ 11 月。

地元との交流を深める

8 月、屋久島町は、ご神山祭りやドラゴンボート大会などもありだくさんのイベントがありました。屋久島森林生態系保全センターも屋久島森林管理署との混成チームで各イベントに参加しました。

ご神山祭りでは同町と有効盟約を結ぶ青森市から約 50 人が駆けつけ、町民とともに「ねぶた運行」を行いました。参加者は「ラッセーラ、ラッセーラ」のかけ声に併せ汗を流し、交流を深めました。



ご神山祭りに参加した一行

昼食をとったあと、同保全センター(宮之浦)に移動。小薄政弘専門官の指導の下、「葛のかご作り」に挑戦しました。薪を入れるかごを作る方や一輪挿しのかごに挑戦される方などさまざま。参加者は悪戦苦闘しながらかご作りに汗を流しました。

最後に完成した作品を手に記念撮影。「森林に学び 森林を楽しむ」充実した森林教室となりました。

無名ヤクスギ等の愛称を募集

～「千年?経っても無名です あなたの名前でデビューしたい」～

本年、屋久島は世界自然遺産登録20周年を迎えることからヤクスギなどの原生的な森林が鑑賞できる白谷雲水峡において、名前がついていない樹木や根株に名前をつけることで、樹木や森林へ親しみを持っていただき屋久島の貴重な自然を未来へつないでいくことを目的とし、下記により愛称を募集しますのでお知らせします。

記

- 1 応募資格：平成25年9月1日～平成25年9月30日の間に白谷雲水峡を訪れた方。
- 2 応募期間：平成25年9月1日～平成25年9月30日の1カ月間
- 3 応募方法：白谷雲水峡入口の管理等に設置の投票用紙に一人一枚限りで樹名等（愛称）を記入のうえ、投票箱に直接投函する。（郵送は受けつけない）
- 4 募集の樹木等



① 私は、白谷小屋入口に鎮座しています。頭上には、まだまだ幼い、身長約18mの杉が生命をつないでいます。最近では私のお腹(空洞)をのぞかれ、写真に撮られるので少々気恥ずかしいです！



③ この地に根をおろして相当長い時間がたちました。その昔、落雷にあいびっくりしました。お腹の中(空洞)は今もその名残で黒くこげていますが、これからも一生懸命生き続けたいと思います。

【樹高】28m

【着生植物】サクラツツジ、カクレミノ、ヤマグルマ、ナナカマド、アオツリバナ等



② 私たちは、親の背中をゆりかごに大きく育った2代目のスギです。どれくらいの年月を経ているのか定かではありませんが、私たちには多くの木々たちが生活しています。これからもずっと見守って下さい。

【樹高】(左)25m、(右)30m

【着生植物】サクラツツジ、ヤマグルマ、アオツリバナ、
アクシバモドキ、タイミンチバナ、
カクレミノ等



④ 太鼓岩からお帰りの方には、私は奇妙な姿に見えることでしょう。体には、ヤマグルマの木がタコのように足を絡めているんです。でも、私の横顔はまた、違った趣があると思います。